

平成 25 年 4 月 25 日

各 位

公益社団法人 全日本病院協会
会 長 西 澤 寛 俊
医 療 従 事 者 委 員 会
委 員 長 大 橋 正 實

平成 25 年度「第 12 回病院事務長研修コース」の開催について

平素より全日本病院協会の活動につきまして格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、この度当協会医療従事者委員会では今年度に引き続き、病院事務長研修コースを開催する運びとなりました。

当研修は病院事務長を対象として毎年開催しており、今回の開催で第 12 回目を迎えます。カリキュラムは、医療行政の動向や医療会計制度、院内コミュニケーション、定員管理と業務再設計、経営計画策定など多岐に亘り、約 8 ヶ月（月 1 単位、全 8 単位）をかけて研修を行い、評価試験に合格された方を「病院管理士」として認定いたしております。

また受講生には、当研修を通じて習得した成果を最大限に活用し、上司の皆様とのコミュニケーションの一助とする為に、3 回程度、受講生から上司の方に対する受講報告を予定しております。上司の方におかれましては、お手数をお掛けしますが、受講生に対するコメントの記載をお願いしております。

尚、詳細につきましては、今回同封いたしますパンフレットをご高覧いただき、是非ともご参加をご検討いただきたくお願い申し上げます。

参加をご希望の方は、**6月5日（水）まで**に F A X にて参加申込書をご送付ください。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

<p><お問い合わせ先> 公益社団法人全日本病院協会 事務局 病院事務長研修コース担当 〒101-8378 東京都千代田区三崎町 3-7-12 清話会ビル 7 階 TEL 03-3234-5165 FAX 03-3237-9366 ホームページ http://www.ajha.or.jp/</p>
--

第12回 病院事務長研修コース 参加のお勧め (病院管理士認定)

公益社団法人 全日本病院協会
会 長 西 澤 寛 俊

全日本病院協会は、国民に安全で質の高い医療を医療人が誇りと達成感を持って提供できるような環境整備を行う事を目的に活動しております。昨今の医療機関をとりまく厳しい経営環境の中、各医療機関においては、安全で質の高い、安心できる医療の提供が望まれており、病院経営の一翼を担うべき事務長職への役割期待はますます強まってきております。

このような状況下において事務長には、必要な基本知識はもとより、情報や質の管理にいたる幅広い分野にわたっての見識とマネジメントスキルが求められ、地域における医療提供の将来像を見すえた経営改革を提起し、経営計画を策定する能力を高めていくことが期待されております。

今年で第12回を迎える本研修のカリキュラムは、病院経営に必要な基本知識から、医療会計制度の現状、事務長として必要なコーチングとファシリテーションの基礎と応用、院内業務の再設計、経営改革計画の策定など、事務長職に必要とされる幅広い分野を網羅しており、より一貫性をもたせたカリキュラムに更新いたしました。

本研修では、職能練磨のための講義・演習等を行い、全受講生が「自院の経営計画」を策定します。さらに、評価試験に合格された方を「病院管理士」として認定いたしております。

各病院におかれましては、すでに事務長の育成・強化のために種々ご配慮をなされてきておられると思いますが、現下の厳しい病院経営環境の中、健全な病院経営・管理の維持・向上のために、皆様からの積極的なご参加をお待ち申し上げます。

 公益社団法人 全日本病院協会

全日本病院協会 医療従事者委員会
日本能率協会コンサルティング



第12回 (平成25年度) 病院事務長研修コース (病院管理士認定)

受講のご案内

ALL JAPAN HOSPITAL ASSOCIATION

受講要件

- 受講者は現在所属している施設での職歴1年以上の病院事務長、またはこれに準ずる職歴2年以上の経験を有する方で、理事長・院長が適格と認めた方であること(各施設1名)。
- 受講者は研修会において自院の経営健全化計画を作成する為、自院の経営指標や財務諸表及び経営情報を研修会内において開示が可能であり、理事長・院長に経営戦略を提言できること。

- 開講期間／平成25年6月～平成26年1月
全8単位、各単位2～3日間、1日目13時～最終日15時まで、宿泊研修
- 受講料金／全日本病院協会 会員施設職員 1ヵ年・全8単位 400,000円
全日本病院協会 非会員施設職員 1ヵ年・全8単位 500,000円
※昼食代を含みます。※宿泊につきましては各自で手配をお願いします。
- 病院管理士認定について／
本研修では、以下の要件を満たした方を病院管理士として認定いたしております。
○評価試験に合格すること。
○全8単位中、7単位以上出席すること。欠席は1単位のみ可としますが、第7単位及び第8単位の受講は必須とします。
- 受講定員／48名
- 研修会場／全日本病院協会 猿楽町ビル会議室(仮称) ※6月中旬移転予定
〒101-0064 東京都千代田区猿楽町2丁目8-8住友不動産猿楽町ビル7F
【アクセス】
○JR線 都営三田線「水道橋駅」東口より徒歩4分
○半蔵門線 都営新宿線 都営三田線「神保町駅」出口A4より徒歩8分
○JR線「御茶ノ水駅」御茶ノ水橋口より徒歩10分
○千代田線「新御茶ノ水駅」出口Bより徒歩11分
- 申込締切／平成25年6月5日(水)
※定員に達次第、受付を終了させていただいております。



公益社団法人 全日本病院協会

評価試験合格者には、全日本病院協会が『病院管理士』の認定証を発行

事務長基本講座

病院経営改革計画策定実習

<p>第1単位</p> <p>平成25年6月29日・30日 (2日間)</p>	<p>【講師】 慶應義塾大学医学部 池上 直己 日本能率協会コンサルティング 萩原 正英</p>	<p>これからの病院経営と事務長の役割</p> <p>医療行政の動向を踏まえ、病院経営管理者としての事務長の果たすべき役割を認識します。また、事務長としての役割を全うするために必要な論理的思考法を学びます。加えて、各事務長間の交流を深め、相互研鑽を図ります。</p>	<p>■内容 医療制度改革と病院の対応方向、事務長に求められる役割と能力、よい事務長の条件、問題解決の思考プロセス、病院経営実態調査結果に基づく現状の問題点、マネジメント課題 他</p>	<p>病院改革の基本的考え方</p> <p>病院経営改革の基本構成とその策定方法を学びます。昨年までの事務長研修受講者の経営改革計画の事例を見て、これから策定する病院改革計画の全体像を把握します。次回の第5単位に向けて、自院の将来像を構想します。</p>
<p>第2単位</p> <p>平成25年7月13日・14日 (2日間)</p>	<p>【講師】 日本能率協会コンサルティング 飯田 真吾</p>	<p>病院における財務会計と管理会計</p> <p>病院経営の基礎となる医療会計制度の基本を学びます。事務長に求められる財務の基本を学び、財務的センスを、演習を通じて習得します。制度会計の分析を通じて病院の問題点の抽出と改善検討を行います。</p>	<p>■内容 医療会計制度の現状と特徴、勘定科目の立て方についての留意点、月次決算と試算表の作成、キャッシュフロー会計、資金繰り表の作成などの制度会計、診療科別収支計算 他</p>	
<p>第3単位</p> <p>平成25年8月16日・17日・18日 (3日間)</p>	<p>【講師】 日本能率協会コンサルティング 萩原 正英</p> <p>【講師】 日本能率協会コンサルティング 田中 信</p>	<p>人事労務管理の基本と実践</p> <p>病院施設の最適な人事および労務管理に関する基本的な考え方や手法を習得します。あわせて人事諸制度の全体構造と機能の関連、組織管理の上で必要な職能や人材区分、今後のあるべき給与体系を理解します。</p> <p>院内コミュニケーション強化に向けたコーチング</p> <p>院内コミュニケーションの円滑化と職場の活性化に向け、事務長として必要な『コーチングとファシリテーションの基礎と応用』について、演習を中心に習得します。縦割り組織の中での有効なコミュニケーションのスキルを身につけます。</p>	<p>■内容 経営と人事管理、人事戦略の立て方、人事制度の構造と機能、人材区分と昇進昇格、給与の機能と仕組み、人事評価、人材教育と育成、要員管理、労務環境管理のポイント 他</p> <p>■内容 マネージャーに求められる人間関係構築スキル、聴き方、コミュニケーション、職員の動機づけと職場活性化、コーチングの基礎・応用、会議設計とファシリテーション 他</p>	
<p>第4単位</p> <p>平成25年9月14日・15日 (2日間)</p>	<p>【講師】 日本能率協会コンサルティング 田村 健二</p>	<p>定員管理と業務再設計①</p> <p>業務分析によって部署別の要員を算定する手法を学び、適正な人員で院内の業務を遂行できるようにする。また、業務の効率化や患者の待ち時間短縮、在院期間短縮、物品などの適正在庫量の算定とその維持管理の方法なども学びます。</p>	<p>■内容 タイムスタディー、ワークサンプリング、M-Mチャート分析、業務フロー分析、物品の定期不定量発注方式と不定期量発注方式、日別負荷分析、時間常別負荷分析 他</p>	
<p>第5単位</p> <p>平成25年10月12日・13日・14日 (3日間)</p>	<p>【講師】 日本能率協会コンサルティング 萩原 正英</p>	<p>事務・管理部門における病院管理機能</p> <p>事務・管理部門で求められる病院の管理機能について習得します。患者の獲得を目指したマーケティングの基本、就業規則や個人情報管理などの病院法務、予算管理と連動した業績管理、リスク管理や危機管理、病院としての広報について学びます。</p>	<p>■内容 組織設計、組織管理、マーケティング、広報、法務3類型（治療法務・予防法務・戦略法務）、コンプライアンス、就業規則、規程管理、個人情報管理、管理会計、購買管理 他</p>	<p>病院の将来構想と環境分析</p> <p>自院の現在の状態を踏まえた上で、自院の将来におけるありたい姿を構想します。また、病院を取り巻く外部環境の分析や自院の内部環境の分析を行います。内部環境の分析においては、病院機能と経営資源、組織風土の3側面から分析を行います。</p>
<p>第6単位</p> <p>平成25年11月8日・9日・10日 (3日間)</p>	<p>【講師】 日本能率協会コンサルティング 萩原 正英 田村 健二</p>	<p>定員管理と業務再設計②</p> <p>第4単位で学んだ手法を第6単位までに、自院で実際に適用します。自院での分析結果を発表して、分析のポイントに関して講師からコメントを頂きます。また、患者満足度や職員満足度の調査方法の基本や効率化に際しての情報システム導入のポイントも学びます。</p>	<p>■内容 目的に応じた分析手法の選定方法、分析手法別の分析時のポイント、分析結果のアウトプットの整理方法、患者満足度調査、職員満足度調査、情報システム導入のポイント 他</p>	<p>課題設定</p> <p>事務長基本講座の学習を通じて認識した課題や病院経営改革計画策定実習の分析を通して認識した課題を体系的に整理する方法を学びます。課題を整理するときに有効なロジカルシンキングの思考法についてもトレーニングを行います。</p>
<p>第7単位</p> <p>平成25年12月7日・8日 (2日間)</p>	<p>【講師】 日本能率協会コンサルティング 萩原 正英</p>	<p>※第7単位では、第2単位から第6単位までの内容に関する総合テストを行います</p>		<p>改革計画の作成方法とプレゼンテーション</p> <p>経営改革計画策定実習で整理してきた病院の将来像や環境認識、課題の体系をもとに、自院の経営改革計画に取りまとめる方法を学びます。また、策定した改革計画を自院で発表するときに求められるプレゼンテーションの方法についても学びます。</p>
<p>第8単位</p> <p>平成26年1月18日・19日 (2日間)</p>	<p>【講師】 慶應義塾大学医学部 池上 直己 日本能率協会コンサルティング 萩原 正英</p>			<p>各院の経営改革計画発表会</p> <p>受講者全員が自院の経営改革計画を作成して、その改革計画をグループ内で相互に発表しあいます。グループ発表の中で、代表者を選定します。各グループの代表者は、最終日に、受講者全員の前で改革計画を発表して、池上教授や講師からのコメントを得ることができます。</p>





医療法人社団
浅ノ川千木病院
事務長
出嶋 信

真価を問われるのはこれから!

私にとって、約8ヶ月にわたる研修への参加は初めてで不安もありましたが、単位毎の間隔が1ヶ月間あり、また研修日程が2~3日間と十分に時間をとったカリキュラムであったこと、事務長として病院全体の業務を幅広く学べたこと、業務改革のための手法や考え方を数多く学べたこと、そして「BJK48(参加者が48名であったことから命名)」のメンバーとして、志を同じくする多くの仲間と出会い、親睦を深められたことはかけがえない財産となりました。

しかし大事なことは、この研修で学んだことや最終課題で策定した改革計画を、これから自院で実践すること。「絵に描いた餅」や「机上の空論」で終わらせないことではないでしょうか。

今回の研修で情熱と厳しさをもって指導頂いた池上教授、JMACの講師陣、我々の我儘に丁寧に応じてくれた事務局の方々、そしてBJK48のメンバーに胸を張って報告が出来るような成果を出したい。その意味でも、これからが本当の真価が問われることを肝に銘じて、今後の業務に取り組みたいと思っています。



株式会社日立製作所
日立横浜病院
向川原 充宏

実り多き9ヶ月

今回の研修受講者で企業立病院は私一人。突然、2012年4月1日付で病院の事務部長との示達。病院の事務とは何をやるのか皆目わからないありさま。

そんな病院経験もない素人への最初の課題が『自院の「ありたい姿」は?』。病院の現状すらわからないのに「ありたい姿」など思いつく訳もない。それが私の正直なスタートでした。

しかし、「事前・事後課題」「理解度テスト」等大変でしたが、研修後半には病院経営の専門用語はもとより、自院の経営環境について「マクロ環境」「ミクロ環境」を分析し課題を明確にすると共に、「ありたい姿」について考え思い描けている自分がいました。

今回の研修で得た貴重な財産を武器に、妥協することなく、院長を補佐し病院経営改革を推進する牽引者であるべきと、覚悟を決められた意義ある研修でした。

もうひとつ、本研修で大きく成長できたのは48人【BJK-48(病院事務長研修-48人の戦士)】の仲間の支えがあったことは忘れてはならない大きな財産です。毎月研修のたびに交流会を企画してくれた会長・副会長、そして11期の仲間感謝です。

そんな実り多き9ヶ月でした。



医療法人
三野田中病院
山西 比登美

成長への第一歩

事務長研修を受講するにあたり、当初私で大丈夫なのか、とても不安でした。しかし、自分がすべきこと、自信と自覚を持ち幹部としての役割を勉強したいという強い思いと、『井の中の蛙』にならないよう広い視野を持ちなさいという病院長の勧めもあり、参加を決意しました。

今9か月間を振り返ってみて、池上教授、講師の先生方、地域性、規模は違えども47名の皆さんと出会えたことは、私にとって大変貴重な財産となりました。講師の先生方から様々な手法、知識をご教授頂いたことで、具体的な取り組みに結びつけていくことはもちろん、47名の皆さんとのネットワークの構築ができたことは、今後病院幹部としての自分の成長に繋がっていけると確信しています。

9か月間の全ての『財産』を活かすことで、病院経営に貢献できますよう、今後も前向きに努力をしていきたいと思えます。皆さんに感謝しています。有難うございました。



地方独立行政法人
加古川市民病院機構
加古川東市民病院
山脇 幹治

病院事務長研修に参加して

「この研修は、8単位19日間であるが、事前事後の予習復習が多く、実質的にはその3倍の約50日間の内容となっており、その自覚をもって臨んでほしい。」

これは、開講式での講師の先生の言葉です。

研修は講義と実習、事前事後の課題、自院での実践、経営層への報告、それらの集大成となる病院経営改善計画のプレゼン発表が有機的にリンクされており、事務長に必要なスキルと実践力が研修の流れの中で身につくようになっていました。盛り沢山の(!)宿題に追われた時期もありましたが、私のように病院勤務経験の乏しい者でも、終わってみれば自分なりの成長を実感し、苦労はしましたが大きな達成感を味わうことが出来ました。

また、研修生の皆さんと酒を酌み交わしながらの交流で生まれた「絆」は私の大切な財産になったと思っています。今後は、この研修で得たことを自院の経営に活かせるよう日々努力してまいりたいと考えています。